



よさこい祭り

学校法人高知学園
高知リハビリテーション学院

学 院 報

学院報第26号

学校法人 高知学園 高知リハビリテーション学院
平成29年9月14日発行
発行 学院報編集委員会
〒781-1102 高知県土佐市高岡町乙1139-3 Tel 088-850-2311 Fax 088-850-2323 http://www.kochi-reha.ac.jp/ E-mail:kochi-reha@kochireha.ac.jp



これからのリハビリテーション
学院への抱負⑮

学院長 大倉 三洋

保護者の皆様には、ますますご清栄のことと拝察いたします。また平素は学院の教育・運営に関しまして、暖かいご支援、ご協力を賜り誠に有り難うございます。保護者の皆様に少しでも学院のことを知っていただこうと始めました学院報も第二十六号の発刊を迎えることになりました。

平成二十九年度は理学療法学科五期生(四四名)、作業療法学科二十五期生(四一名)言語療法学科二十一期生(二四名)を新たに迎え、学生総数五五七名でスタートいたしました。そして四月のスポーツ大会、八月のよさこい祭り(四十七回連続出場)、土佐市の大綱祭り(前期の行事も無事終わり、これらの行事を通して一年生も良き友や先輩との出会い、またクラス、学科あるいは学院生としての絆が芽生えてきたように思います。

学院報第二十四号で専門職大学の紹介を、また保護者の皆様には先日、本学院の専門職大学に対する取り組みについて報告させていただきました。本学院ではこれまでの五十年の教育実績を生かし、「実践を学ぶ」、「最先端を学ぶ」、「地域で学ぶ」、「深く学ぶ」をキーワードに四国で唯一、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の三専攻がそろった専門職を養

成する大学として「高知リハビリテーション専門職大学(仮称)」の開設に向けた取り組みを教職員一丸となつて行っております、今後ともご支援下さいませよう、よろしくお願い致します。最後に卒業生の活躍ぶりについて紹介させていただきます。静岡県浜松市の聖隷クリストファー大学の新学長に、本学院の第二期生(一九八三年卒業)、大城昌平先生が就任されました。大城先生は二〇〇四年、聖隷クリストファー大学理学療法学科の開設当初より教授として奉職され、二〇一三年からは学部長としてリハビリテーション学部の発展に多大な貢献をされ、その功績が認められ今回学長に就任されたと伺っております。九月二日に浜松市で「大城昌平教授 学長就任祝賀会」が盛大に行われ、本学院からも山本双一先生、清岡 学先生(高知リハ学院の同級生)と一緒に参加させていただきました。その紹介の中で今までに理学療法士で大学の学長を務められた先生は全国で三人います。しかし、現役(定年前)で学長に就任されたのは大城先生が初めてであることを伺い驚きました。その大城昌平先生が本学院の卒業生であることに改めて、本学院の歴史と伝統の重みを感じております。

よさこい祭りを終えて

言語療法学科一年

山口 堇

私はよさこい祭りに何度も参加していたのですが、こんなに楽しいよさこい祭りは初めてでした。途中から加わったのに優しく迎えてくれた委員のみんな、初めて関わるのに今までも仲良かったように接してくれた他学科のみんな、より仲が深まった言語療法学科のみんな、そして多方面でサポートしてくれた先生方、みんながいたからこんなに楽しい最高の夏になりました。

よさこい祭りという一つの行事を通して、たくさん友達の輪が広がり、学年全体的にも仲が深まったような気がします。このような経験をできたことに感謝しています。



レクリエーション大会を終えて

理学療法学科二年

中野 稜太

今年度のレクリエーション大会の委員長を務めさせていただきました。レク委員長をするのはとても不安でしたが、周りが支えてくれたので楽しくレク大会を進めることができました。四年生も皆来てくれて、入学して間もない一年生も自分から進んで行動してくれて良かったです。二年生、三年生、四年生も前年までの経験を活かし、各競技を通じて学年間や学科間で新たな交流が生まれた場面もあったように感じました。

レク委員長は大変で沢山の迷惑をかけましたが、他の学生の方や先生方に助けていただき今年度のレクリエーション大会が成功しました。ありがとうございました。

学生生活について

言語療法学科二年

上野 裕誉

高知リハビリテーション学院に入学して二年目になりました。入学当初は勉強についていけるか、友達ができるかどうかなどの不安もありました。しかし、先生方の熱心な指導のおかげで勉強への不安も少しずつ薄れていき学校生活にも慣れていきました。始めは友人ともまだぎこちなかったのですが、スポーツ大会や学院祭、よさこい祭り等の行事を通して打ち解ける事が出来ました。通学に1時間

作業療法学科二年

池 真穂

慣れないスーツに身を包み、新しい学院生活への期待でいっぱいだった入学式から早一年半が経とうとしています。当初は、新しいクラスメイトと仲良くなるか不安もありましたが、レク大会やよさこい祭り、学院祭などの行事を重ねるごとに、クラスの仲間との距離は縮まり、同時に先輩方がペア学習などを通じて気さくに話しかけてくださり、勉強面のアドバイスも頂いたりして、充実した

理学療法学科二年

小松 大輝君

高知リ八に入学して早くも一年半が経ちました。入学当初は新しい環境や、専門的な分野の勉強に対する不安などがありました。ですが、素晴らしい友人達や、様々なことについてアドバイスしてくれる先輩方、一人一人に向き合ってくださる先生方と良い関係を築くことで良い学校生活を送ることができています。また、よさこいやレクリエーション大会、学園祭など行事が盛んで自然とクラスの絆が深まり、先輩や先生方とすぐに打ち解け

程かかる為大変なこともあります。楽しい学生生活を送っています。

この学校の良いところは、資格を取るための勉強が出来るだけでなく、色々な年代の人たちや色々な経験をした人たちとの出会いもあることです。その人たちと関わることで自分の視野を広げることが出来ます。

今後は国家試験に向け今まで以上に勉強に取り組み、みんなと合格できるように頑張っていきたいと思っています。

学院生活を送ることができています。

また、二年生になり専門的な内容を学ぶ中で、以前よりもさらに作業療法士になりたい気持ちが強まりました。時に、勉強の難しさに心が折れそうになることもあります。そんな時は、先輩や先生方に相談したり、友達と励まし合い、共に勉強することで乗り越えることができます。私はこの学院で、人を思いやり協力する大切さを日々感じています。残りの学院生活、たくさん思い出を作り、作業療法士を目指し精一杯努力していきたいと思っています。

ることができました。

そして、二年生の夏休みは一年生の時とは違い実習が始まります。自分達の今まで学んできた技術と知識を少なからずでも、本番に近い形で実践できる良い機会だと思つので、将来自分がどんな理学療法士になりたいかのイメージを固められると思います。また全国各地の病院で高知リ八の先輩方が現職として勤めているという点も心強いことであり、高知リ八の良さだと思います。この恵まれた環境で高知リ八の生徒として勉強に励みたいと思います。

大綱祭りを終えて

作業療法学科1年 上西 アイル

私は始めて大綱祭りに参加しました。とても迫力のあるお祭りで太鼓の合図で大綱の引き合いがはじまり、町全体から掛け声の「わっしょい」という声が響いていてすごく楽しかったです。私たちの踊りの中の「わっしょい」という掛け声にもものってくださり、観客との一体感にはとても感動しました。来年は大綱を引く側に立ってみたいです。



学院祭のご案内

学院祭実行委員長 道倉 碧海

夏の暑さも終わり、涼しくなり今年も学院祭の季節がやってきました。本年度は10月の8日、9日に学院祭を開催いたします。今年の学院祭は例年とは一味違い、屋台では、流し売り、縁日をするクラスがあるなどお祭り感を全面に出した学院祭となっています。そのほかにも、焼きそばやお好み焼き、豚汁、から揚げなど多くの種類があります。また、外部からも屋台での販売に参加していただく予定で、学生の屋台とは違った雰囲気を楽しんでいただけたと思います。伝統となっているオープニングの持ち投げや、豪華景品のビンゴ大会、各クラスが一致団結して行うクラス自慢など地域の皆さんが楽しめる企画は変えずに、学校内だけでなく、地域の皆様とともに盛り上げていく学院祭を目標としています。

屋台だけではなく、クラス対抗となり競うアームレスリングやイントロドン、コーラ早飲み、クラス自慢など様々なイベントもあり、白熱した戦いをお楽しみいただけます。

学校全体で良い学際を作り上げていくので、ぜひ皆様お誘いあわせの上ご来場されますことを心よりお待ちしております。

クラブ紹介

【軽音楽部】

部長 理学療法学科三年 宮中 梨南子

軽音楽部には二十名の部員が所属しており、その中で今はバンドに分かれ、活動しています。十月に行われる学院祭にも出場し、それぞれのバンドが自分達の好きな曲を演奏し学院祭をより一層盛り上げています。

また、土佐市のドラゴン広場で行われるハロウィンパーティーにも参加し、ハロウィンの仮装をして、音楽を通じて地域の方と楽しむことができます。

三月には四年生を送るための卒業ライブを行います。昨年度は春野のピアステージで行いました。たくさんの方に見に来てもらえるので、すごくやりがいを感じ、また音楽の楽しさを感じることがができます。

皆さんも、ぜひ軽音楽部に入学して学生最後の楽しい思い出を作りませんか。一緒に学院を盛り上げていきましょう。

【ハンドボール部】

主将 理学療法学科三年 山中 大河

ハンドボール部は、現在十七名、マネージャー四名で活動しています。昨年は同好会として活動し、今年からクラブとして本格的に活動し始めました。ハンドボールはあまりメジャーなスポーツではないため、部員の半数は初心者で、初めはルールを知らない人がほとんどでした。分からないことは経験者で協力しながら教え合い、また自分で調べてくるなど積極的にチーム作りを行っています。そして何よりも楽しみたい、上手になりたいという気持ちをもって活動しています。

個性的な部員の中で皆、仲良く、いつも笑顔が絶えません。また先生、周りの方々にも恵まれており、ハンドボール部の活動ができて良かったと心から思います。興味のある人、身体を動かしたい人、どんな方でも大歓迎です。一緒にハンドボールを楽しみましょう。今後とも応援の程、どうぞよろしくお願い致します。



ハンドボール部

図書館の検索システム

図書館司書 依光 朋子

資料の探しかた

その1 高知リハビリテーション学院にある図書・雑誌をさがしたい場合、高知リハビリテーション学院OPAC (Online Public Access Catalog) で蔵書検索をします。学内に限らず、インターネット環境があれば検索可能です。必要な資料が貸出中の場合は予約することもできます。学生の皆さんはMy Libraryに登録すると、貸出状況照会など自分専用の図書館ページを利用することができます。OPACでは蔵書検索はもちろん、新刊案内や開館日程、貸出人気図書など便利な情報を発信しています。



その2 論文をさがしたい場合は、文献検索データベースを利用します。主に利用されているものは、医中誌Web (日本の医学文献情報を検索できるデータベース)、メディカルオンライン (医学文献検索全文閲覧サイト)、CiNii Articles (日本の学術論文情報を検索できるデータベース) などです。学院内はもちろん、実習先での利用も可能です。実習中の利用やレポート課題、卒業研究など様々な学習に役立つので、利用率は非常に高くなっています。

その3 「高知リハビリテーション学院学術情報リポジトリPOST」では、高知リハビリテーション学院紀要など、本学院教職員の研究成果を集めています。リポジトリとは貯蔵所・倉庫・知識などの宝庫という意味で、研究成果を電子的に保存しインターネット公開するシステムを学術機関リポジトリと呼んでいます。本学院でも広く世界に向けて発信していて、スタートした平成25年度は年間論文ダウンロード数28,502件でしたが、平成28年度は104,924件となり、年々増加しています。平成29年度は7月末現在で早くも68,268件なので、今年もたくさんの方に研究成果を参考にさせていただいているようです。図書館ホームページやOPACから、どなたでも利用できますので、是非ご覧ください。



))) 教員紹介 (((



言語療法学科 学科長
石川 裕治

昨年(平成二十八年)言語療法学科は二十年を向かえ、今春、第二十一期生が入学しました。

平成九年四月に、学科が開設し、その年の十二月に「言語聴覚士法」が制定さ



作業療法学科
有光 一樹

高知リハビリテーション学院の教員になり十六年目になります。臨床に魅力を感じている私は、維持期療養の病院と通所リハビリテーションに現在も非常勤



理学療法学科
中野 良哉

高知リハビリテーション学院に教員として入職してから今年で十六年目になります。入職してから六年間は、言語療法学科に所属していました。現在は理学療法学科に所属しています。授業は主に心理学関係の科目を担当しています。所属は理学療法学科です

れ、一期生とともに喜んでことを思い出します。これまで、約四百名が卒業し、全国で言語聴覚士として活躍しています。また、昨年、開設二十年の記念として、「言語療法学科」というパンフレットを作成し、学生募集活動に役立てています。

今、現場の先生方から採

で関わっています。こう

いった臨床のことを学生たちには話すと、機能解剖学や生理学などの授業の時よりずっと反応が良く、楽しいです。日々の臨床像を伝え話し合うことは、学生の身近な目標につながり日々の学習意欲に繋がると確信して

が、理学・作業・言語の三学科の学生の必修科目の講義を担当していますので、当学院を卒業するには、私の授業を受講する必要があります。私自身も、通せんぼおじさんになるつもりはありませんが、学生の皆さんは、ぜひ私を乗り越えて、心理学の勉強をし、セラピストになっていただきたいと思っています。学内では、人間総合科学大学指導連絡会委員長、自己占検・評価委

用にあたり、①学生時代毎回授業に出ていたか、②どんな言語聴覚士になりたいか、③時間外に多くの活動(ボランティア等)をしたか、等を問われるようになります。とても基本的でかつ重要なことであるので、これらを意識し、学生に指導していきたいと考えています。

います。

目標を持った学生は、臨床実習、国家試験においても自分で努力することができます。学習方法に関する様々な知見もありますが、私自身はまず学生に目標を持っていただくよう支援していくことが大切な役割であると考えています。

員会授業評価部会委員長、理学療法学科二年生の副主任をしております。併修生には大学の課題を提出するように、また、先生方には授業評価報告書を提出するようにうろさいくらいに、言っておりますが、委員長は嫌いになっても私は嫌いにならないでください。これからも、学生や教職員の皆様とともに私自身、成長していただけることを心から願っております。

国家試験対策

国家試験対策室長 重島 晃史

国家試験対策室長の重島と申します。国家試験対策室（以下、国試室）が立ち上がった今年度で三年目になります。国試室設立後、国試対策は個々の学科主導ではなく、学校全体で取り組んでいくことになりました。過去二年間を振り返ると、国試室開設前は各学科がどのような取り組みを行っているか不透明でしたが、開設後は学科特有の対策や問題点などを共に把握できるようになりました。学科間で意見交換したり情報共有を図ったりすることは、所属する学科で生じた課題や問題などの解決や学習方法の方略の立案や改善に大いに有用で、個性の異なる学生への対応に気づきを与えてくれます。国家試験対策では最終学年だけの取り組みだけではなく、一年次からの取り組みと位置付けており、四年次で得られたデータを下級生に還元・活用し学院の教育活動を支援して参ります。

全国で活躍する卒業生シリーズ②⑤

一般社団法人 是真会 長崎リハビリテーション病院
教育研修部 言語療法学科 第一期生 岡崎 裕香



高知リハビリテーション学院が学園短大と隣り合わせで高知市旭天神町にあった頃、第一期生として言語療法学科に入学しました。二〇〇〇年は、回復期リハビリテーション病棟の制度が創設された年ですが、その年に地元近森リハビリテーション病院に就職しました。新人当時は、回復期リハビリテーション病棟の役割も分からぬまま、STって何ができるのだろうか…と思いつつも患者さんに向き合うことが精一杯でした。

就職して二年目、その頃の私はSTの専門用語ばかりを並べて他職種と情報交換をし、セラピストで行っていた症例検討会では、コミュニケーションや発声発語、嚥下障害の問題点でしか患者さんを把握できておらず、患者さんを「人」というより「症状」で見ていたようで、全体像を捉えることができていませんでした。STが患者さん一人に接する訓練時間は四十分〜一時間程度、しかし生活は二十四時間、一週間、回復期リハ病棟では最長で約六か月の入院生活が続きます。ST訓練以外の時間をいかに、心身機能・活動を伸ばすために活用できるか、他職種と協働できるかで、患者さんの予後も変わるということをこの時期に気づかされました。それに気づかせてくれたのは現在共に働いている先輩P

Tです。私はこの時、回復期リハビリテーション病棟の醍醐味の一つである多職種協働の面白さを初めて味わいました。

回復期リハビリテーション病棟経験後、臨床六年目で近森病院急性期への異動、約二年間の急性期リハビリテーションを経験したのち、二〇〇八年より長崎リハビリテーション病院（以下、当院）で勤務しています。

当院は次年度、開院十周年を迎える百四十三床すべてが回復期リハビリテーション病棟の専門病院です。信頼できるスタッフがいる職場で仕事ができることは私の何よりの支えです。患者さんが住み慣れた地域でその人らしくいきいきとした生活ができるよう支援するためには、まず自身が心身ともに健康でなければなりません。また誇りを持って仕事を楽しくすることも重要なことです。これから就職する方、現在、働きながら色々と悩んでいる方へ。同じ思いで何かをやり遂げようとする仲間はずいいます。自分に正直に、そして仲間を大切に!!どこで働くかも大事ですが、私は誰と働くかがとても大事なことだと思っています。これからも出会いに感謝し、今までに私が臨床で得ることが出来たものを一人でも多くの方に伝えることができるよう発信していきたいと思えます。

「専門職大学」に向けた取り組みを行っています

本年5月に学校教育法が改正され、新たな学校種として「専門職大学」が創設されました。法律の施行は、平成31年4月とされています。

この大学は、実践的かつ応用的な能力を持ち専門業務を牽引できる職業人を養成していくことを目的にしたものでして、もとより大学として学位が授与されるものです。

当学院では、平成31年4月より「高知リハビリテーション専門職大学（仮称）」として、リハビリテーション学部のもとにリハビリテーション学科（定員150名）を置き、理学療法学専攻（定員70名）、作業療法学専攻（定員40名）、言語聴覚学専攻（定員40名）の3専攻を置く構成で計画しています。現在の専門学校とは平成31年度から33年度の間、並行した形で授業などを行っていくこととなりますが、専門学校では現教員が引き続き教育にあたっていきますので、教科や実習などはこれまで通りとなります。



学校法人高知学園
高知リハビリテーション
専門職大学（仮称）

設置構想中
平成31年
4月 開設
予定

平成29年度 後期行事予定表

9月19日	後期授業開始	1月23日	学園記念日
10月8・9日	学院祭	2月5日～13日	後期定期試験（1・2年次生）
11月24日～12月1日	後期定期試験（3年次生）	2月	国家試験（ST）
12月21日	冬期休業入	2月	国家試験（PT・OT）
1月7日	冬期休業終了	3月4日	卒業式